



# 中学生になったら ジュニアリポーターで活躍!



小学校卒業間近の6年生のみなさん。信毎こども記者は卒業となりますが、中学生になって取材を体験する機会があります。次はジュニアリポーターとしてこれまでよりも少し難しいテーマについても、取材したり、記事を書いたりしてもらって機会を作っています。勉強に、部活に、と忙しいと思いますが、ぜひ挑戦してみてください。

## 技能五輪国際大会「レストランサービス」部門に出場

### 軽井沢で小林裕香さん取材

2月12日 中学生のジュニアリポーターと高校生特派員が、軽井沢プリンスホテルで働いている小林裕香さん(22)取材しました。

小林さんは、昨年10月にロンドンで開かれた技能五輪国際大会の「レストランサービス」部門に出場。4日間という長い競技に挑戦して、21位になりました。レストランのお客さんに料理をサービスしたり、ワインを選んだり、カクテルを作ったり、とさまざまなおもてなしの技を競う競技です。



この日見せてもらったのは・・・

#### ◆◆ ノンアルコールのカクテル



オレンジジュースとグレープフルーツジュースをそれぞれ40ミリリットルずつ計って氷が入ったシェーカーに入れ、カシャカシャとシェイクします。



今ではあまりやっていないそうですが、高級レストランではお客さんの目の前でオレンジやグレープフルーツの皮をむいてお皿に盛り付けて出すサービスがあり、それも競技の一つです。

#### ◆◆ フルーツのサービス



果物にフォークを刺して持ち、右手でナイフを上手に使用して皮をむいていきます。すごい!

記事は3月2日の信濃毎日新聞「ステップ! 青春のページ」に掲載しています。みんなも読んでみてね。

昨年7月には、松本で開催された国連軍縮会議にもジュニアリポーターが参加して、

高校生の記者たちと一緒に速報新聞を作りました。今年10月に松本と諏訪で開く技能五輪で速報新聞を出す予定なので、中学生にも協力をお願いする予定です。取材や企画の連絡を希望する人は、メールアドレスを教えてください。詳しいことは3月のこども記者ニュースを送る時にお知らせします。



#### ◆◆ 自分の将来へ大きな収穫

小学校とともに信毎こども記者を卒業して約一年。久しぶりにジュニアリポーターとして取材をさせていただきました。今回は技能五輪レストランサービス部門に出場した小林裕香さんにお会いすることができました。

中学生となり、自分の進路や将来について意識するようになってきた私にとって、その業界の一線で働く小林さんのお話を聞かせていただいたり一流のレストランサービスを間近で見ることが出来たことは大きな収穫となりました。これからも機会がありましたら、ぜひ取材に参加させていただきたいと思います。

飯田絵麻(長野市 中1)

## こども記者レポートに 記事を書こう!



こども記者が学校や地域で取材して書いた記事を紹介するコーナー。自分が興味を持ったこと、みんなに知らせたいことなど、書きたいテーマが見つかったら地域活動部に連絡してね。



## もし 記者じゃなかったら～子どものころの夢は・・・

### お花屋さん、森や木にかかわる仕事

小学校に上がる前、遊び場は山でした。下諏訪町の、裏に山がせまる場所に住み、木々の間をぬってソリで滑り、白々ふくらおネコヤナギの身をなでなで。山が職場の不思議な「山のおじいさん」もいて、庭のユスラウメにマムシが出た時は、呼んできて捕ってもらったりしました。

そんな中で、花や山、自然が、自分と一体ようになっていきました。お花屋さんが夢と言いついたのは6歳のころ。花が好きで、私も大好きだったおばあちゃんが亡くなり、眠る近くでお花屋さんをやりたいと思うように。コーヒーも出し、お客さんにお花を1本ずつあげたい、と想像をふくらませていました。

でも、現実には大変な仕事です。学生時代、友達が勤めるお花屋さんに遊びに行っていました。水仕事、重労働で、腰を痛めたり、売り上げに追われ、とて

### 地域活動部記者 長沼佳史(記者11年目) 「信毎こども新聞」担当



もハード。就職活動の時、お花屋さんの門もちょっとたたいてみましたが、記者になりました。

記者の仕事の良さの一つは、自分の好きな取材もできること。花の農家、木工作家、山岳部の学生、花で地域づくりをする人たち…。好きな分野だと、取材相手の話もすーっと入り、写真にこり、のびのびと筆を運び出すことができます。北アルプス・涵沢支局での新米記者の修業も楽しい思い出です。

今、こども記者の皆さんと取材教室などで自然のことが学べ、わくわくしっぱなしです。アロマセラピーを勉強したり、木こり講座に出て見たりと、楽しく趣味も続けています。